

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会幹事 石川博規

学生へ技術士の魅力を伝える「学校へいこう！」

■実施概要

開催日時：H25.11.1(金)12:40～14:10

講義内容：技術士の役割・制度・メリット等の説明
技術士の具体的な仕事内容(講演2篇)

受講生：北海学園大学工学部社会環境工学科(土木系)3年生約60名

参加者：郷田智章技術士、亀海貴寛技術士(以上2名がメイン講演者)、永井、木本、永田、小澤、塩見、平岡、麻山、源野、石川(以上9名幹事)

■はじめに

毎年恒例となりました「学校へいこう！」を北海学園大学にて11月1日に実施してきました。北海学園大学での開催は平成20年度から始まり今年で6回目となりますが、毎年内容のバージョンアップを行い、今年は更に濃密な内容で実施してきました。

「学校へいこう！」の実施目的は、技術士という資格の知名度等の向上を図るための広報・宣伝活動であるとともに、土木系の学生たちの理系離れを防ぎ、土木・建築の仕事の魅力や技術士の素晴らしさを講演者自らの仕事を通して伝えることです。

講義のキモとなるメイン講演者は、事前に聞き取りした北海学園大学側の希望を勘案し、「北海学園大学OB」と「環境系の職種」の2名を選出しました。

また、これから就職活動等を行う3年生が対象であるということを勘案し、今年は新たに「技術士の行う様々な仕事」の紹介時間を設け、当日参加した青年技術士交流委員会幹事9名の仕事内容・魅力の紹介を追加し、更なる充実を図りました。

■技術士とはどんな資格？

はじめに、今回の司会役である学園OBの源野幹事が全体進行の説明を行い、その後、石川幹事が「技

術士とはどんな資格？」と題して、技術士の役割・資格取得方法・持つことのメリット等についての講演を行いました。

制度などの説明は内容的に退屈なことが多く含まれるため、生徒を飽きさせないように漫画・アニメのキャラなどを登場させるなど工夫を凝らし、技術士の良さを伝えています。



写真-1 ○○ピース登場で喰いつく学生たち

■自分の色を活かす仕事

次に環境保全の業務などに携わる郷田技術士より、「自分の色を活かす仕事—国民の暮らしを守る建設コンサルタント」と題して、講演がありました。

郷田技術士は、自身の役所への出向経験などを交えながら土木・建築業界の立場による役割の違いや技術士のやり甲斐などを説明しました。講演の進め方も、クイズを出題するなど学生を巻き込んだわかりやすい内容が展開されました。

学生からのアンケートでは「役所・ゼネコン・コンサルの違いがわかった」、「講師自身の経験を聞いて具体的なイメージができた」などの意見が寄せられ、学生へ土木・建築業界の魅力を十分伝えられたと思います。



写真-2 さすが小中高の生徒会長は話術が巧み

■橋梁設計技術者の仕事

次に北海学園大学 OB で橋梁設計の業務などに携わる亀海技術士より、「橋梁設計技術者の仕事」と題して、講演がありました。

亀海技術士は、自身で行った橋梁設計について、技術士ならではの着眼点・工夫点などを交えるとともに、OB ならではの大学での講義・授業と仕事との関わりを交えて説明するなど、具体的でわかりやすい解説を行いました。また、30 代前半という若さを活かし、学生たちの兄貴的な目線からのアドバイスを熱心に伝えました。

学生からのアンケートでは「技術士取得による給料の上がり方に驚いた」、「学校の授業が実際の設計に活かせることがわかった」などの意見が寄せられ、学生たち自身の近い将来像を感じてもらう講演となったと思います。



写真-3 フレッシュな学園 OB コンビ

■技術士の仕事(番外編)

新たな試みとして、質問表・アンケートの記入時

間を利用して、講師以外で会場へサポートに来ていた青年技術士交流委員会幹事メンバーの仕事内容の説明を行いました。

木本幹事長がいつもの？熱弁で、技術士の仕事内容が多岐にわたり、それぞれ魅力的であることを伝えました。質問では、麻山幹事へ公務員の立場での技術士の位置づけについて熱心な質問がありました。

また、大成建設の CM を流すなど土木のカッコ良さを伝えるイメージ戦略も試みました。



写真-4 熱心に聞き入る学生たち

■講義を終えて

講義に参加した学生へのアンケートでは「講演を聞いて、土木関係の仕事内容が具体的にイメージできた」、「素晴らしい話だったので、来年も後輩たちに聞かせてほしい」、「みなさんが楽しそうに仕事をしているので自分もそんな仕事に就きたい」、「土木関係の仕事も選択肢に入れて就職活動をしたい」などの好意的な意見が多数寄せられました。

今後も、他の大学、専門学校、高校などへの展開や学生とともに地域貢献活動を行うなど、土木・建築や技術士の魅力を伝えていきたいと考えております。

「学校へ行こう！」の講師を募集

青年技術士交流委員会では、大学生や高等専門学校生へ、技術士の仕事の魅力を伝えてくださる講師を募集しております。

自薦他薦は問いませんので、ご興味をお持ちの方は、お近くの青年技術士交流委員会幹事までご一報いただけますようお願いいたします。